

とりばね あげは
世界三大美蝶・鳥羽揚羽

姫路科学館
企画展

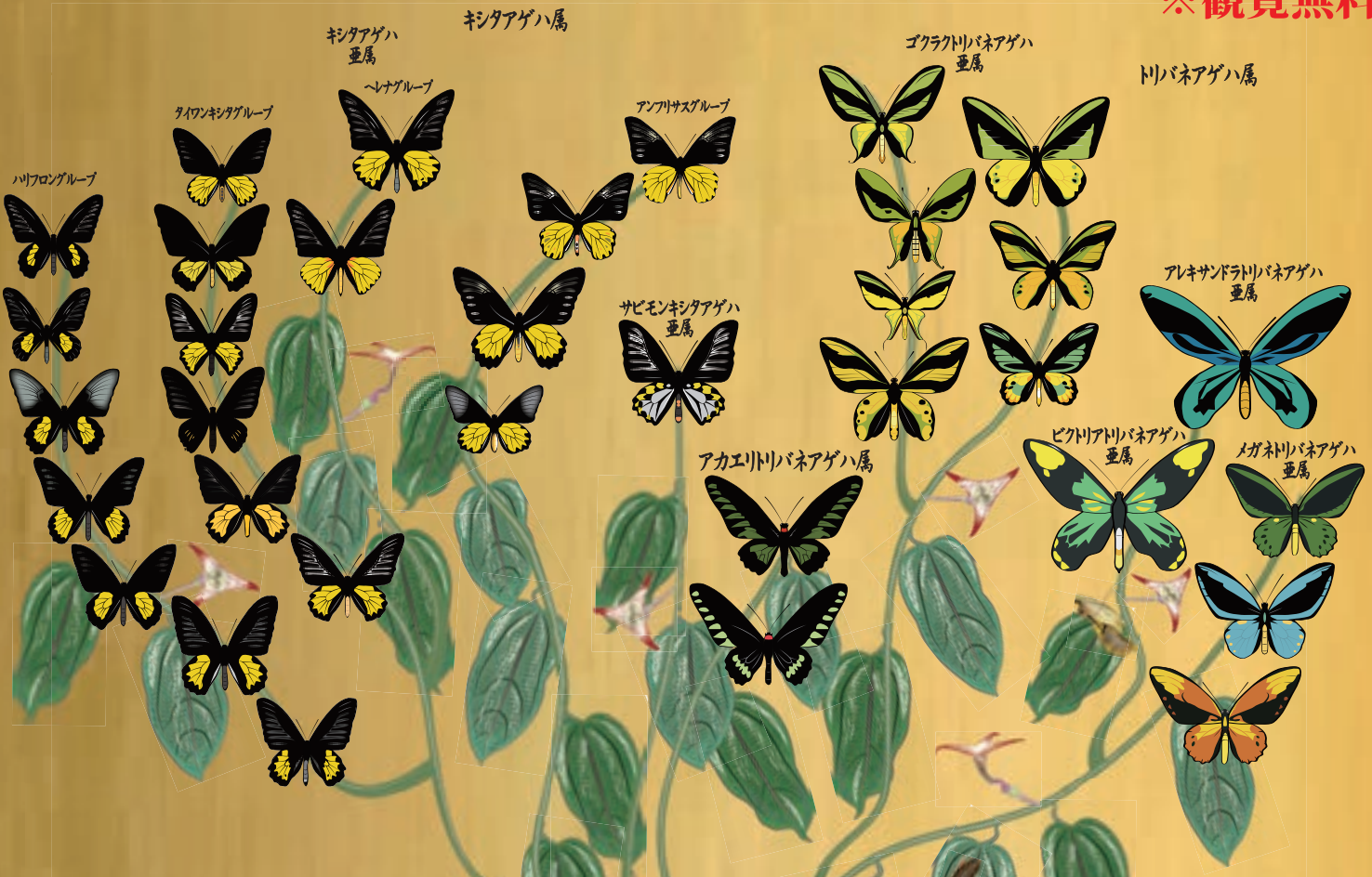
第2回小林平一コレクション展

トリバネアゲハから見える 生物多様性

平成29年3月11日(土)～4月9日(日)

火曜休館

※観覧無料



この絵はトリバネアゲハ類の分類学的な系統進化について、食草のウマノスズクサ類を系統樹にみたたて表現したものです。

卵から幼虫、サナギ、成虫になる過程のイメージも併せて示しています。

主催：姫路科学館

第2回小林平一コレクション展

トリバネアゲハから見える生物多様性

トリバネアゲハ類の収蔵標本、全種 約 10,000 頭、世界でも類い希な収蔵種数と頭数を誇る、姫路科学館所蔵“小林平一コレクション”。

生命の進化と生物多様性を探る研究対象として重視されるトリバネアゲハ類。

小林平一コレクションから厳選した標本と解説でその魅力を分かりやすく、面白く伝えます。

トリバネアゲハ属、アカエリトリバネアゲハ属、キシタアゲハ属、3属 全34種145亜種 600頭が整然と並びます。

一目で生物多様性を感じることができる圧倒的な標本展示のもと、各属や種の特徴、分類上の要点をイラストをまじえて分かりやすく解説します。



小林平一氏新亜種記載のゴクラクトリバネアゲハ・アルファック山脈亜種のタイプ標本やワシントン条約付属書I記載種アレキサンドラトリバネアゲハも展示します。



トリバネアゲハ撮影の第一人者、松香健次郎氏による美しい生態写真を生息地の風景とともに大型ディスプレイに映写します。



トリバネアゲハ類の種や亜種の分化・分布から解明される生物多様性を標本と解説で紹介します。



トリバネアゲハと姫路市蝶「ジャコウアゲハ」・兵庫県花「ノジギク」との驚きの関係とは？

アカエリトリバネアゲハのペーパークラフト“グライダー”を作ろう！



小林平一コレクションとは

小林平一氏（1923～2002）は、姫路市出身で、世界文化遺産・姫路城の昭和の大修理や鯨瓦（しゃちがわら）の復元等で全国的に有名な瓦職人です。その一方、生物と自然に興味を持ち、世界各地からは乳類、鳥類、昆虫類の標本を収集しました。特に韓国や台湾など東アジアには頻繁に出掛け、標本類も充実しています。

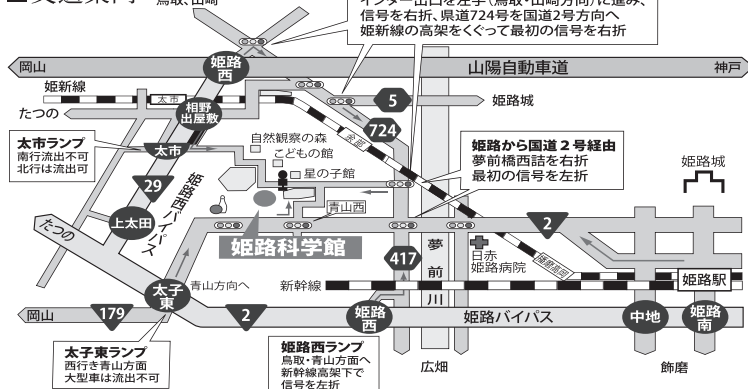
充実した昆虫のコレクション

昆虫類では、特にパプア・ニューギニア産のトリバネアゲハ類に強い関心を持ち、自身でも3ヶ月に一度、現地のパプア・ニューギニアを訪れていました。それ以外にも世界中のチョウやコウチュウにも興味を持って集めました。小林さんは、このように収集した各地の標本を比較しながら、分類の研究に取り組みました。特に、パプア・ニューギニアのトリバネアゲハ属や、インドネシアの島々に分布するキシタアゲハ属について、新たに名前を付ける（新種・新亜種の記載）など分類学にも貢献しました。

社会への標本の公開と活用

小林さんが亡くなったあと、昆虫類や鳥類をはじめとしたコレクションを姫路市がまとめて収蔵しました。姫路科学館では、「小林平一コレクション」として収蔵室で管理・保全しつつ同定整理をしながら、研究等の学術利用、生物多様性情報へのデータ登録、展示や教育普及への活用に取り組んでいます。

交通案内



- 車で 姫路バイパス姫路西ランプ、山陽自動車道姫路西インターから各々約10分（無料駐車場あり）。
- バスで JR姫路駅北口バスターミナルから神姫バス「太市」行きで「星の子館前」下車すぐ。所要時間約20分。



姫路科学館 🔍 検索

〒671-2222 兵庫県姫路市青山 1470-15
電話 079-267-3001 FAX 079-267-3959
<http://www.city.himeji.hyogo.jp/atom/>